

報告 Report

ものづくり大学同窓会 2017年度 活動報告

原稿受付 2018年9月28日

ものづくり大学紀要 第8号 (2018) 38~41

中元良成^{*1}, 上原苑子^{*2}, 加藤大樹^{*3}, 神裕仁^{*4}, 大塚秀三^{*5}, 齋藤修一^{*6}

*1 ものづくり大学同窓会 理事(事務部 総務課 会計係)

*2 ものづくり大学同窓会 会長(学務部 学生課 就職・インターンシップ係 主任)

*3 ものづくり大学同窓会 理事(学務部 教務・情報課 教務係 主任)

*4 ものづくり大学同窓会 書記(事務部 総務課 施設係)

*5 ものづくり大学同窓会 監事(技能工芸学部 建設学科 教授)

*6 ものづくり大学 (就職支援本部 副本部長)

1. はじめに

ものづくり大学同窓会（会長：上原苑子・建設2期）は、2008年度の設立から、ものづくり大学卒業生への情報発信および支援等をはじめ、地域貢献活動を中心に行っている。設立から9年目を迎え近年においては、大学を取り巻いた活動も多くなり、大学・在学生と卒業生を繋ぐ存在であることを確立してきている。

ここでは、2017年度のものづくり大学同窓会の活動を報告する。

2. 活動概要

活動概要は「表1」の通りである。「ものづくり体験教室」の開催は、行田市よりものづくり大学が依頼を受けて実施している「おもしろものづくり教室」、さきたま火祭り実行委員会の主催する「さきたま火祭り」など5回実施した。「碧蓮祭における活動」では、同窓会員等からの寄付金で実施しているものづくり大学同窓会花火大会および懇親会を開催、卒業生を主として行う体験教室・展示会・出店ブースの設置等実施した。「名刺交換交流会」は2014年度から実施しており、2017年度は総会と同日開催で実施した。2016年度より同窓会加入の会費制を導入し、「同窓会奨学金」、「新入生歓迎イベント」を新たに実施し、在学生に向けたサポートの充実も活動の幅として広げた。

表1 活動概要

No.	活動	実施時期
1	ものづくり体験教室	5月4日, 7月2日, 22日, 9月2日, 18日
2	碧蓮祭における活動	10月28日, 10月29日
3	名刺交換交流会	5月21日
4	同窓会奨学金	12月12日
5	新入生歓迎イベント	4月14日

3. 活動内容

3.1 ものづくり体験教室

3.1.1 概要

「ものづくり体験教室」は、行田市、大学からの依頼を受け、活動を行っている。主な活動は、子供向けの体験教室であり、体験教室を通じて、参加者の「ものづくり」に対する関心を深めることと同時に、ものづくり大学の認知を広げる目的で継続して実施している。体験教室実施にあたり、講師等のスタッフについては、卒業生の有志で募ったTeaching Staffを中心に行っている。

3.1.2 実績報告

2017年度の体験教室の実施は「表2」の通りである。毎年実施している「おもしろものづくり教室」の他、新たに鴻巣市にある「埼玉県防災学習センター」からの依頼など、行田市だけでなく埼玉県内における認知度向上のきっかけにもなった。体験教室では、卒業生の有志だけでなく在学学生をスタッフとしたため、参加者が親しみやすい体験教室ができ高い満足感を得られたとともに、大学のイメージアップ、認知度向上にも繋がっているため、今後とも継続して行っていきたい。

表2 体験教室実施一覧

No.	体験教室名	イベント	実施日 実施場所	依頼元	参加者数
1	左官材料を使用したタイルコースターの製作	さきたま火祭り	2017年5月4日 さきたま古墳	さきたま火祭り実行委員会	56名
2	ちょっと便利なプランターテーブルをつくってみよう	おもしろものづくり教室	2017年7月2日 ものづくり大学	ものづくり大学	25名
3	タイルコースターセットをつくらう	おもしろものづくり教室	2017年7月22日 ものづくり大学	ものづくり大学	38名
4	タイルコースターセットをつくらう	金属労協(JCM)埼玉主催 親子ものづくり教室	2017年9月2日 ものづくり大学	ものづくり大学	60名
5	タイルコースターセットをつくらう	埼玉県防災学習センター実施イベント	2017年9月18日 埼玉県防災学習センター	埼玉県防災学習センター	100名

3.2 碧蓮祭における活動

3.2.1 概要

「碧蓮祭における活動」では、卒業生および教職員の寄付金協力により実施している花火大会や懇親会、卒業生による体験教室・模擬店・展示会の出展支援、近隣店舗の模擬店誘致、1年生の出店支援等様々な活動を行っている。なお、碧蓮祭は10月28日（土）、10月29日（日）に開催された。

3.2.2 実績報告

2日間とも雨天の中ではあったが、花火大会および懇親会を行うことができた。懇親会会場では、卒業生を始め、退職された教員、在学生も参加しており、例年通りの賑わいを見せた。碧蓮祭に1年生団体の出店が少ないため、運営のし易さ向上を目的に、1年生団体のうち5団体に出店支援を行った。次年度以降も、碧蓮祭参加学生増を目的とし、これらの活動を続けていきたい。

3.3 名刺交換交流会

3.3.1 概要

「名刺交換交流会」とは、業界業種の異なる卒業生同士の交流を深めることを目的とし、2014年度より実施したイベントである。

3.3.2 実績報告

2017年度は12名の参加者が集まった。参加者は、日常の仕事では聞けない話題や、他業種の情報収集等に活用している様子であった。

参加者数については少しずつ増加しているものの、まだ少人数であるため、卒業生に向けた周知の方法を検討していきたい。

3.4 ものづくり大学同窓会奨学金

3.4.1 概要

「ものづくり大学同窓会奨学金」とは、ものづくり大学の掲げる教育理念の下、優秀な人材の育成を目的とし、授業料等の経済的負担の軽減を図るための支援として、2017年度から始めた給付型の奨学金である。学業成績が優秀で修学意欲に富み、かつ、人物健康とも優れ将来が嘱望される者、家計が経済的に窮している者を対象に、年間8名以内、年額12万円を給付している。

3.4.2 実績報告

2017年度は、13名からの応募があり、選考の結果、8名に給付を決定し「奨学生証認定授与式」を12月12日に行った。今後も、在学生の経済的負担の軽減に貢献し、より多くの優秀な人材を社会へ輩出するための支援として、「ものづくり大学同窓会奨学金」を引続き実施していきたい。

3.5 新入生歓迎イベント

「新入生歓迎イベント」とは、新入生と教職員・在学生在が交流を図ることにより、新入生が大学生活における不安を解消し、早く大学生活に馴染めるようにすることを目的とし、ものづくり大学同窓会主催で2017年度より新たに実施したイベントである。

3.5.1 実績報告

ものづくりの道で新入生歓迎バーベキュー大会を開催し、多くの新入生が参加した。また、上級生も多く参加し、所属しているクラブ等の紹介などを行っている姿も見られ、在学生同士の交流を深めることができた。参加した学内関係者から好評であったため、今後も継続してイベントを主催していきたい。

4. まとめ

2017年度のものづくり大学同窓会活動について、設立時から継続して行っている地域貢献活動では、新たな団体からの依頼もあり、多くの参加者に認知してもらえる機会となった。2016年度より、会費制を導入したことで2017年度では、活動の幅を広げることができた。

ものづくり大学同窓会の認知度向上のため、広報手段として、HP、ブログ、Twitter、facebook、ものづくり大学同窓会 LINE 等で引続き周知していきたい。

謝 辞

ものづくり大学同窓会の活動に際し、学校法人ものづくり大学ならびにご支援頂いた教職員の皆様、実習用機器および廃材提供では総合機械学科・建設学科より多大なるご支援を頂いています。また、本活動には同窓会役員をはじめ、多くの卒業生・在校生有志のご助力を得ています。ここに、紙面を借りて関係各位に深謝いたします。

文 献

- 1) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成22年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.104-107,2011.6
- 2) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・宮本伸子：ものづくり大学同窓会 平成23年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.119-122,2012.6
- 3) 加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成24年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.113-116,2013.6
- 4) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成25年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.69-72,2014.12
- 5) 中元良成・加藤大樹・上原苑子・大塚秀三・川辺憲一：ものづくり大学同窓会 平成26年度 地域貢献活動報告, ものづくり大学紀要, pp.49-53,2016.4
- 6) 中元良成*1, 上原苑子*2, 加藤大樹*3, 大塚秀三*4, 齋藤修一*5：ものづくり大学同窓会 2015年度 活動報告 pp.32-37,2018.2